



みんなで考える快適ロード事業

平成 17. 18 年度事業

地域の思いを取り入れた住民満足度の高い道路維持管理方法の策定を目的として、地域住民と行政が協働で、地域の道路について考えるワークショップを実施しました。

◆ 事業経過

18年度は、盛岡、北上、千厩、大船渡、遠野、釜石、久慈からモデル地区として9地区を選び、ワークショップ等を実施しました。

また、17年度は、ワークショップを実施し、実際に草刈りや除雪を行っている岩泉、二戸の2地区で、作業にあたっての課題や成果について話し合いを行いました。

事業の企画運営は事務局である「いわてNPOセンター」と道路環境課が行い、実施に際しては、各地域の中間支援NPO※(矢巾、北上、千厩、釜石、久慈)、各市町村担当者、各地方振興局担当者の協力を得て実施しました。

① 合同説明会(5月)

今年度の事業内容について、対象地域の各振興局や市町村に説明し、意見交換を行いました。

② 現地調査(6月中旬～7月)

モデル地区の選定後、対象地域の住民の代表、中間支援NPO、市町村、振興局に対し事業の説明を行い、一緒に現地を視察しました。

③ 第1回ワークショップ(7月末～9月上旬)

県内9地区の各振興局、市町村、中間支援NPOと住民参加によって開催し、問題点の洗い出しと共有を目的に班に分かれた検討作業により住民側の要望、問題点を引き出しました(一部地域では、第1回で課題解決策の検討まで実施しました)。

④ 第2回ワークショップ(9月～11月)

第1回ワークショップで出された問題点に対する解決策の検討を実施しました。また、具体的な取り組みについて地区の実施体制等を確認し、今後の維持管理の方向性を参加者で確認しました。

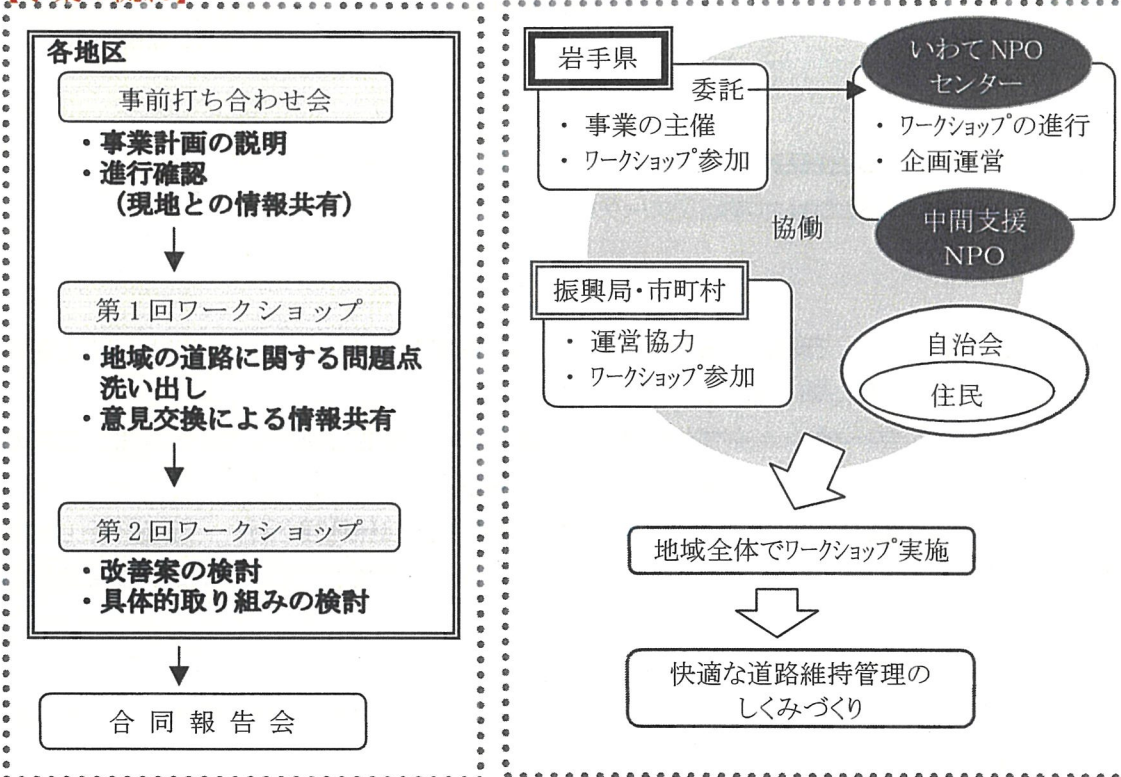
⑤ フォローアップワークショップ(11月下旬～12月)

草刈業務委託及び小型除雪機貸与を受けている岩泉、二戸の2地区においてフォローアップワークショップを実施しました。また、作業実施における問題点や実施後のコミュニティーの変化等について聞き取りを実施しました。

⑥ 合同報告会(12月)

事業を実施した全9地区が集まり報告会を開催。各地区の結果報告と意見交換を行いました。

【事業の流れ】



◆ 事業全体の成果

平成 17 年、18 年度事業を通じて、全振興局管内でワークショップを実施することができました。その結果、住民協働による「草刈業務委託」、「歩道除雪」といったモデル事業を立ち上げることができ、今年度は、県内で 37 地区の「草刈業務委託」、8 地区の「歩道除雪」について契約、協定を結ぶことができました。

また、各地区でワークショップを開催したことにより、住民の方々が日頃感じている問題点や維持管理に関する意向、行政側の意向や道路の維持管理施策の現状について互いに理解が深まり、今後一層、協働で推進するきっかけづくりになったと考えられます。

これからも地域との対話を大切に継続しながら、快適な道づくりを進めていきます。



草刈り作業中!



大雪が降っても通学時間前に除雪!

2つの地区の事例を紹介します。

【遠野地区】

綾織町地域づくり連絡協議会

①成果

項目		内容	
現地調査	開催日時	平成 18 年 7 月 14 日 (金)	10 : 00
	開催場所	遠野綾織地区センター	
第 1 回 WS	開催日時	平成 18 年 8 月 25 日 (木)	18 : 30
	開催場所	綾織地区センター	
	参加者数	22 名 (地区 : 10 名、行政 : 9 名、NPO : 3 名)	
第 2 回 WS	開催日時	平成 18 年 11 月 8 日 (水)	18 : 30
	開催場所	下綾織地区コミュニティ消防センター	
	参加者数	16 名 (地区 : 4 名、行政 : 9 名、NPO : 3 名)	
目標		除雪機貸与の可能性と、地区活動等の実施体制の検討。	
成果		・ 地区内で話し合いの場を設けていくことに関して合意できた。	
今後の課題		・ 地区活動等への参加者の確保 (地区会長の負担の軽減) ・ 行政側のフォロー体制の確立	
特記事項			

②総括

当該地区では活発な地域活動の実施により協力体制はまとまっていると思われるが、実際には労働力も不足しており、自治会長の負担が大きいことも明らかになりました。

第 2 回ワークショップでは、県側から具体的に除雪機や付随する備品の貸出、作業に係る保険等の負担を提案しました。持続性を大切にして、刈り草の処理を県が負担する方向で話し合いをしました。

また、若い世代にも活動を広く周知し、活動体制の強化を図ることがあげられました。今後は、地区内でブロック毎に話し合いの場を設けていくことや県や市町村のフォロー体制の強化を進めていくこととしました。



【久慈地区】

大川目まちづくり協議会

①成果

項目		内容	
現地調査	開催日時	平成 18 年 6 月 22 日 (木)	13 : 30
	開催場所	大川目農村総合センター	
第 1 回 WS	開催日時	平成 18 年 8 月 3 日 (土)	18 : 00
	開催場所	大川目農村総合センター	
	参加者数	36 名 (地区 : 23 名、行政 : 9 名、NPO : 4 名)	
第 2 回 WS	開催日時	平成 18 年 11 月 30 日 (木)	18 : 30
	開催場所	大川目農村総合センター	
	参加者数	24 名 (地区 : 12 名 行政 : 8 名 NPO : 4 名)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型除雪機貸与の合意形成 ・ 住民主導の道路維持管理体制 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除雪機貸与の話がまとまった。 ・ 地区内での組織立ち上げを具体的に検討できた。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの体制 (継続性、有償、若い人の協力など) 		
特記事項			

②総括

草刈や除雪に関する問題のほか幅広く問題点が出されました。特に交通量の多い国道に面していることから、通学路や歩道整備に関して安全確保の声が多く出されました。

第 2 回では有志により草刈り、除雪を行う組織化の話題も出されました。また、自治会内の取り組みをPRしたいという意見も多く、看板設置に関しても積極的な意見が出されました。



トピックス

1/15 住民参加による歩道除雪の協定を締結！

久慈地区では初めての試み。地元でも除雪機を扱ったことが無いという事なので、貸与式とあわせて除雪機の納入業者を招いて操作説明会を行いました。そして早速ですが先日の降雪の際に稼働しました。

